

特集

あなたが主役です ごみ減量化。

リサイクル

～リサイクル社会とちぎをめざして～



フリーマーケット
(今市市・市縁ひろば)

現在、私たちは、大変豊かで、便利な暮らしをしています。しかし、それは大量生産、大量消費といった経済の仕組みやライフスタイルの上に成り立ったもので、資源を消費するとともに、大量のごみも排出しています。

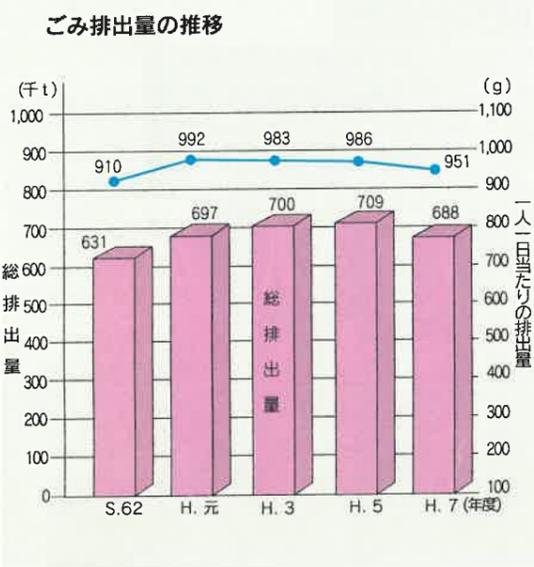
市町村では、この膨大なごみを適正処理するために、ごみ処理施設の整備を図っていますが、埋立処分場の不足や処理コストの増大など様々な問題が発生しています。

ごみ問題を解決するためには、県民一人ひとりが『ごみ減量化・リサイクル』の取り組みを積み重ね、その取り組みの輪を広げることが大切です。こつとした取り組みが、『リサイクル社会とちぎ』を築くこととなります。

毎日出る多くのごみ

◆「ごみ」は、家庭から出る一般廃棄物と、事業活動から出る産業廃棄物に分類されます。

◆県内の家庭から排出されるごみの量は、年間約七〇万トに達し、県民一人あたり毎日約一キログラムのごみを出していることとなります。

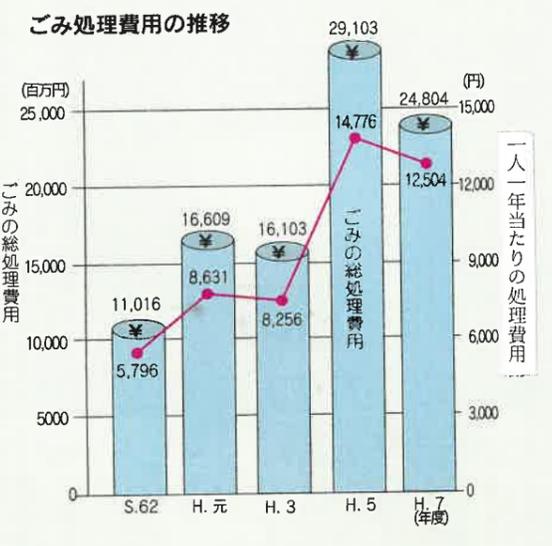


こんなにかかるごみ処理費用

◆何気なく毎日出しているごみ。出せば市町村が持つて行ってくれます。しかし、ごみを適正に処理するには多くの費用がかかっています。

◆県内のごみを処理する費用は年々増加し、平成7年度には二四八億円もかかりました。これは、県民一人あたり約一万三千円を負担していることとなります。

◆各家庭において、ごみを減らすことができれば、ごみ処理費用の節約につながるのです。



新たなごみ処理の課題

◆最近、ごみ処理に関する新しい課題として、ダイオキシン問題が出てきました。ダイオキシンはものの燃焼によってできる有害な有機塩素化合物です。廃棄物の燃焼によって発生するダイオキシンにおいても、排出を削減していくことが急務となっています。ダイオキシンの排出を減らすには、大きな焼却炉で適正に処理することが有効ですが、何よりも、焼却するごみの量を減らすことが重要です。

◆県民一人ひとりがごみを減らすため、もう一度、ライフスタイルを見直し、身近な生活から、ごみ減量化・リサイクルの行動を実践する必要があります。

ごみ減量化・リサイクルは家庭から

◆ごみ問題を解決するためには、ごみとして出された後の処理を考えるだけでなく、まず、日常生活において「ごみをつくらない」「ごみをたさない」「ごみを再生利用する」といった行動を徹底し、「ごみゼロ」を目指すことが大切です。

— 具体的な行動 —

ごみを減らす

- ◆ごみそのものを減らすためには、ごみの発生段階において、いかにごみとなるものをつくらないかが、いづことが重要です。
- ◆ものを長く大切に使う。
- ◆使い捨て商品は買わない。
- ◆必要なものだけを購入する。

ごみを再利用する

- ◆不要になったものでも、ごみとして排出する段階で有効に利用し、極力ごみとして出さないことが重要です。
- ◆故障した電化製品などはなるべく修理する。
- ◆生ゴミの自家処理に努める。
- ◆フリーマーケットに参加する。

ごみを再利用する

- ◆排出されるごみは、再資源化できるものは徹底的に原材料として再生利用していくことが重要です。
- ◆分別排出ルールを守る。
- ◆ペットボトル、トイレットペーパーなどを店頭回収に協力する。
- ◆集団回収に参加する。

リサイクル社会とちぎの実現に向けて

◆どんなにごみの減量化・再生利用を進めたとしても、処理しなければならぬごみは出てしまいます。

◆今後のごみ処理は、従来の単に「ごみを燃やして埋める」という処理から、リサイクル可能なものは極力リサイクルし、ごみ処理から発生するエネルギーも有効に活用する「廃棄物循環型」への転換を図ることが重要になります。

◆このため、県では、家庭から出るごみを有効活用した RDF(ごみ固形燃料)発電システムの検討を進めています。

◆このシステムは、ごみの持つエネルギーを利用した発電と燃焼後に出る灰の資源化処理を一体としたもので、地域エネルギーの開発だけではなく、環境への負荷の低減、埋立処分場の延命化など、ごみ処理の抱える問題を解決することができます。

◆ごみのリサイクルと適正処理のため、ごみ処理施設、埋立処分場の整備にご理解とご協力をお願いします。

◆今後は、より一層のごみの資源化やダイオキシン対策を進めるため、まず、県民一人ひとりが身近なところからごみ減量化・リサイクルを実践していくことが求められています。



黒羽グリーンオアシス
(一般廃棄物最終処分場)

問合せ
県環境整備課

〒331-0000 宇都宮市埴田一丁目二〇

☎028-863-3131

トピックス

「栃木から世界へ・世界から栃木へ」 とちぎ国際交流センターがオープン

栃木県では、毎年二十万人以上の県民の皆さんが海外の経験をするようになっており、既に二万四千に近い外国人の皆さんが県民の仲間入りをしています。このことは、栃木県にも「本格的な国際化時代」が訪れてきていることを物語っています。

このような状況のなか、県では国際性豊かな人づくり、外国人にも住みやすい地域づくり、外国人と県民の交流の活性化、国際交流協力活動の推進のための拠点として、「とちぎ国際交流センター」を11月10日オープンしました。

この施設には、県民の皆さんや外国からやってきた皆さんが、気軽に交流したり、情報交換したりするためのフロンティア、世界の様々な情報に触れることのできるインターネットコーナー、図書閲覧室などが設けられています。

また、国際交流や国際協力のことについての相談にお答えする相談コーナーが設けられており、ここでは、外国人の皆さんの生活上の悩み事についても、専門の相談員が対応するほか、相談者のプライバシーを守るための個室の相談室も設けています。

さらに、国際交流や国際協力などに関連した講演会やセミナー、研修会などを行うホールや、会議室、研修室などのほか、体験を通じた文化交流を行うための和室や調理室も設けています。

これから、この「とちぎ国際交流センター」を活用し、栃木県の一層の国際化の推進を目指しまして国際色あふれる様々な事業を展開してまいりますので、皆様、どうぞお気軽にお立ち寄りください。(県国際交流課)



《問合せ》

財団法人栃木県国際交流協会

〒320 宇都宮市本町9-14 ☎028-621-0777

(とちぎ国際交流センター内)

OPENING THE "TOCHIGI INTERNATIONAL CENTER"!

Information: Tochigi International Association (TIA)

9-14 Honcho, Utsunomiya 320 ☎028-621-0777

ABERTURA DO "CENTRO INTERNACIONAL DE TOTIGUI"!

Informações: Tochigi International Association (TIA)

9-14 Honcho, Utsunomiya 320 ☎028-621-0777

INAUGURACION DEL "CENTRO INTERNACIONAL DE TOCHIGUI"!

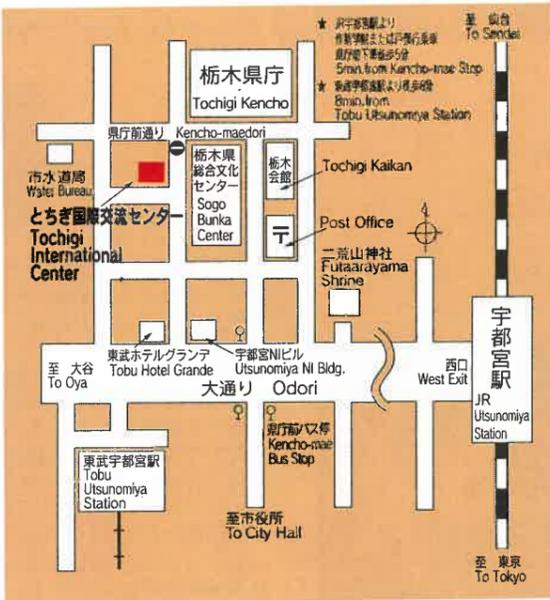
Información: Tochigi International Association (TIA)

9-14 Honcho, Utsunomiya 320 ☎028-621-0777

「栃木県国際交流中心」 開館了!

联系地址: 財団法人 栃木県国際交流協会 (TIA)

〒320 宇都宮市本町9-14 ☎028-621-0777



【施設のご案内】

- 3 階
 - 文化体験室 和室と調理室を使った文化の相互体験
- 2 階
 - 多目的ホール 講演会、セミナー、レセプションなどの開催
 - 研修室 語学等各種研修や国際化関連の講座の開催
 - 会議室 国際交流・協力活動に関連した会議等の開催
 - 友好交流室 友好交流県・省等からの訪問者などの応接等
 - 相談室B・C 国際交流相談や外国人生活相談の実施(個室)
- 1 階
 - 相談コーナー 国際交流相談や外国人生活相談の実施
 - 相談室A 国際交流相談や外国人生活相談の実施(個室)
 - 交流ラウンジ 交流や情報交換の場、インターネットコーナー
 - 企画展示室 外国文化、国際交流活動等の展示紹介
 - 図書閲覧室 書籍の閲覧・貸出し、マルチメディアコーナー

集まれ! 「とちぎ」大好き人間

「とちぎファンクラブ」の設立

四季折々に美しい豊かな自然

守り育てられてきた伝統・文化

パランス良く発展を続ける産業

◇このように心るさと「とちぎ」の素晴らしさを見直し、理解と関心を深めたい、それを県内外にアピールするために、(社)日本青年会議所栃木ブロック協議会が中心となり「とちぎファンクラブ」が11月8日設立されました。

◇このクラブでは、会員の皆様に「とちぎ」に関する旬の情報をお届けしたり、イベントなどの活動に参加していただいたりします。

◇会員には、個人会員(年会費千円)と家族会員(年会費二千円)があり、「とちぎ」の好きな人、関心のある人ならどなたでも入会できます。

◇入会申込書は、ファンクラブ事務局、県広報課、各県民センターや県民相談室などのほか、足利銀行、栃木銀行の各窓口でも配布しています。(県広報課)

■問合せ

〇「とちぎファンクラブ」事務局

〇または、県広報課

☎028-639-5100

☎028-633-2257

みぢかに花を♥もつと花を♥みんなに花を♥

早春に贈る「とちぎ花フェスタ'98」開催

全国的規模の「ジャパンフラワーフェスティバル」が、今年3月、マロニエプラザ(宇都宮市)において開催され、大好評を博しました。この度、県内各地の特色を活かした花の祭典「とちぎ花フェスタ'98」を、来春3月、とちぎ花センターをメイン会場に開催いたします。



ジャパンフラワーフェスティバル会場風景

一足早い「春」を、多くの皆さんに感じていただくために、花の生産者と地域の方々準備を進めております。是非、お出掛けください。

◆期間 平成10年3月20〜22日

◆場所 岩舟町 とちぎ花センター、こなら館及び県営みかも山公園

◆問合せ 県首都圏農業課 ☎028-633-2338

市町村の各医療費助成事業受給者の方へ

「郵送による助成申請」について

県内全市町村で行っている、

- (1) 乳幼児医療費助成
- (2) 妊産婦医療費助成
- (3) ひとり親家庭医療費助成
- (4) 重度心身障害者医療費助成

については、11月から郵送による助成申請も受け付けております。

医療機関にかかり、医療費(保険適用分の自己負担金)を支払った後、助成申請書に必要事項を記入し、医療機関で保険点数の証明を受けて郵送して下さい。後日、指定口座に助成金が振り込まれます。

また、各市町村の窓口でも、申請を受け付けています。さらに、県内の病院、診療所、歯科診療所、保険薬局等に助成申請書を置いていただくことになりましたので、御利用ください。

なお、助成申請書・申請用の封筒は、各市町村で用意していますので御利用ください。

■問合せ

〇乳幼児・妊産婦・ひとり親家庭の各医療費助成事業については、

県児童家庭課 ☎028-633-3063

〇重度心身障害者医療費助成事業については、

県障害福祉課 ☎028-633-3020

または、

あなたのお住まいの市町村各医療費助成事業担当課まで

インターネットで、中小企業の情報を支援

「とちぎいいネット」の開設

「とちぎ産業情報ネットワーク」とちぎいいネット」が、10月1日から開設されました。このホームページは、中小企業情報の発信により新たなビジネスチャンス創出や、各種情報の提供による県内中小企業活動の支援を目的としています。

県が行う施策、商工関連イベントやセミナー・講習会の案内、発注情報、中小企業情報など、最新情報をご覧いただけますので、是非、ご利用ください。(経営指導課)

◆問合せ 栃木県中小企業情報センター ☎028-637-3788

「とちぎいいネット」
(Tochigi Industrial Information Network)
ホームページアドレス
<http://www.tochigi-iin.or.jp/>



インフォメーション

文化情報をあなたに

子ども総合科学館

〒321-01 宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555 毎週月曜日・毎月第4木曜日・祝日の翌日は休館 開館時間 9:30~16:30 (入館16:00まで)

- ◆第29回企画展「トリックビジョン〜映像の魔術〜」▷12月7日~1月15日▷最近の映画やテレビでは、様々な特撮が利用され、私達を楽しませてくれています。この特撮の技術を紹介しますとともに、特撮技術による楽しい体験を、ぜひお楽しみください。
- ◆造形ワークショップ「あんだり、おったり、かさねたり」▷12月14日~1月15日▷身近な素材を使って「織る」「編む」を体験。子供から大人までいろんな手法で、色や影のコントラストを楽しめます。
- ◆科学工作教室(小学生4年生以上30名)◇「ヘリコプターを作ろう」▷2月1日◇「木炭電池を作ろう」▷3月1日
- ◆ミニ工作室(小学生各回30名程度)◇「たこを作ってあそぼう」▷12月13日◇「風車を作ってあそぼう」▷1月10日◇「風輪であそぼう」▷3月14日
- ◆おりがみ教室▷12月21日、1月18日、2月15日
- ◆パソコン教室▷12月21日、1月25日、2月22日
- ◆天文台公開▷12月23日、1月15日、2月1・11日
- ◆天体観望会▷12月27日、1月9・24日、2月7・21日



天体観望会/天文台公開

県総合文化センター

〒320 宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- ◆セーヌの調べ—シャンソン・ド・パリ'97—恋人たちの愛のシャンソン—▷12月14日(日)16:00本日開演 当日券有り
- ◆アナニアシヴィリ & 世界のスター達98▷1月25日(日)17:30開演▷テープ音楽によるバレエ・ガラ公演▷「白鳥の湖」(第2幕)、「ドン・キホーテ」などのハイライトシーンを世界のトップダンサー達が踊る夢の祭典。
- ◆狂言シリーズ第3弾「野村万作の世界と栃木の謡」▷2月6日(金)18:30開演▷メインホール▷地元出演者による『栃木の謡』、『狂言入門講座』そして、野村万作、野村万乃介、野村萬斎らによる『寝音曲』、『六地藏』の3部構成です。
- ◆ピアノコンクール入賞者演奏会と仲道祐子ピアノリサイタル▷2月21日(土)16:00▷サブホール▷無料:整理券が必要▷申込み:往復はがき(1枚1名)に住所・氏名・電話番号を明記のうえ、県総合文化センターへ。1月10日(土)~2月10日(火)必着締切。応募多数の場合は抽選。



アナニア・シヴィリ & 世界のスター達98

県立美術館

〒320 宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566 毎週月曜日休館 開館時間 9:30~17:00 (入館16:30まで)

- ◆企画展「マウリッツハイス美術館展」—17世紀オランダ絵画の栄光—▷11月2日~12月23日▷17世紀オランダ美術のコレクションで世界的に知られるマウリッツハイス美術館。本展では同館が所蔵するレンブラント、ホッペマ、ライスダールら40作家の油彩画46点により、清新な息吹のあふれるオランダ美術の黄金時代を紹介いたします。
- ◆企画展「大山魯牛展」—風景という幻想空間—▷1月25日~3月22日▷東京に生まれ足利で育った大山魯牛(1902~1995)は、小室翠雲の画塾に学び、帝展、日本南画院展で活躍しました。戦後は新興美術院に所属し、南画の精神を現代に伝えました。本展は大正期の新南画から、戦後の色面構成による実験的な作品、さらに抽象的な風景表現を経て晩年の空間表現にいたる画業を、各種展覧会への出品作品を始め、当館所蔵作品及び足利市美術館所蔵作品を中心に、下絵、デッサンを加えた90点で回顧します。



レンブラント・ファン・レイン 「青年の自画像」

県立博物館

〒320 宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1311(代) 毎週月曜日・祝日の翌日は休館 開館時間 9:30~17:00 (入館16:30まで)

- ◆テーマ展◇(1)「館蔵結城合戦絵巻」〔後期〕▷10月~12月23日◇(2)「中世陶磁器の世界」▷9月~12月23日
- ◆講座「水墨画を読む」▷12月23日▷申込み:電話で人文課へ。(☎028-634-1313)
- ◆ワークシートに挑戦▷内容:展示に関するワークシートを配ります。正解者には記念品を進呈します。▷1月10日、2月14日▷対象:当日入館の小・中学生▷申込み:当日博物館受付へ。
- ◆体験学習◇(1)「ちぎり絵に挑戦」▷12月14日◇(2)「十二単と鎧を着てみよう②」▷1月15日◇(3)「節分のお面を作ろう」▷1月25日◇(4)「紙おびザウルスを作ろう」▷2月15日◇(5)「お雛様を作ろう」▷2月28日▷申込み:(1)(3)(4)(5)は当日博物館受付へ。(2)は当日直接博物館講堂へ。▷対象:(1)(3)(4)(5)は小・中学生、(2)は小・中学生~一般
- ◆映画会▷12月21日、1月10日・24日、2月8日・14日・22日▷申込み:ともに当日直接博物館講堂へ。お詫び:平成10年1~3月、スロープ展示を除く展示室は、リフレッシュ工事のため御覧になれない箇所がありますので、御了承ください。



体験学習「十二単と鎧を着てみよう」

県からのお知らせ

募集

【県民200万人到達・栃の葉国体記念 第15回健康マラソン大会】
「みんなでスポーツ明るい郷土」のスローガンのもと、健康の保持増進を図るとともに、中華人民共和国浙江省から選手を招聘し開催します。
◇日時 平成10年2月15日(日)午前9時~
◇会場 県総合運動公園及び周辺道路
◇参加区分及び対象

参加区分	対象
男子・女子10kmの部 5kmの部	一般、高校生
男子50歳以上5kmの部 女子40歳以上5kmの部	一般、高校生、中学生 年齢50歳以上 年齢40歳以上
親子小学生低学年の部(3km) 親子小学生高学年の部(3km)	小学校1~3年生親子 小学校4~6年生親子

- ◇参加費 中学生、高校生 1,000円
一般、親子(一組) 2,000円
- ◇締切り 平成10年1月20日(火)
- ◇申込み・問合せ 県教育委員会保健体育課 ☎028-623-3416

【介護研修(介護入門コース)】

- ◇対象 介護に関心のある方や家庭介護者
- ◇期間 4日間(毎月実施) ◇無料
- ◇内容 介護の基本的知識・技術
- ◇会場・申込み・問合せ
①県介護研修センター(宇都宮市:とちぎ健康の森)☎028-621-7928
②県県南介護研修センター(栃木市:県シルバー大学校南校内)☎0282-22-7553

【OA講習】

- ◇対象 身体障害をお持ちの方
- ◇期間 4週間程度
- ◇内容 パソコン、ワープロ ◇無料
- ◇申込み・問合せ 栃木障害者職業センター ☎028-637-3216

試験

- 【平成10年度県農業大学校一般入学試験】
- ◇募集学科・定員 ①農学部本科 100名 (推薦入学制度有り)

- ②農学部研究科 20名
- ◇試験日 平成10年1月26日(月)~27日(火)
- ◇試験方法 筆記試験及び面接試験
- ◇願書受付 平成10年1月5日(月)~12日(月)消印有効
- ◇問合せ 県農業大学校 ☎028-667-0711

案内

- 【長野オリンピック聖火リレー】
来年2月に開幕する長野オリンピック冬季競技会に先立ち、県内で聖火リレーが行われます。当日は沿道で、ランナーの方々への熱い御声援をお願いします。
◇日時 平成10年1月15日(成人の日) 午前10時30分出発
◇区間 12区間 約11.4km
県庁前~大通り~宮の橋~南大通り~東京街道~陽南通り~江曾島本町通り~県総合運動公園陸上競技場

- 技場
- ◇走者 一般県民ランナー 72名
- ◇問合せ 長野オリンピック聖火リレー栃木県実行委員会事務局 ☎028-623-3415

【県環境保全資金融資制度】

- ◇対象 県内で1年以上事業活動を営んでいる中小企業者等
- ◇内容 ①公害防止施設等の設置・改善に要する資金
②公害防止のための工場等の移転に要する資金
③環境保全事業(省エネルギー、リサイクルなど)
- ◇融資限度額 ①又は③経費の90%以内で100万円~5,000万円、②経費の90%以内で200万円~1億円
- ◇融資利率 年1.9%以内
- ◇返済期間 10年以内又は7年以内
- ◇問合せ 県環境管理課 ☎028-623-3191

あなたの窓口

●保健福祉総合相談	保健衛生及び福祉全般についての相談・指導	最寄りの各健康福祉センター	
●医療相談	医療についての相談	中央県民センター	☎028-623-3900
●高齢者総合相談	高齢者や家族の方々が抱えている生活全般にわたる心配ごとや悩みごとについての相談	高齢者総合センター	☎028-627-1122 又はプッシュホン#8080
●介護研修・福祉用具相談	高齢者介護の知識・技術に関する研修や福祉用具の展示・相談	介護研修センター	☎028-621-7928
●老人性痴呆相談	老人性痴呆に関する相談等	老人性痴呆疾患センター	☎0282-87-2251
●こころのダイヤル	精神的不安や悩み、精神障害の診療等についての相談	精神保健福祉センター	☎028-673-8341
●精神保健福祉相談	精神保健福祉・適正飲酒に関する相談	精神保健福祉センター	☎028-673-8785
●エイズ相談	エイズに関する相談	県健康増進課・最寄りの各健康福祉センター	

とちぎの魅力・実力・潜在力
(平成9年産)
いちご販売数量21,137トン
(26年連続日本一)
販売金額21,766百万円
(3年連続日本一)